

遠隔モニタリングにおける タスクシフト

～心臓植込み患者の安全かつ有用なタスクシフトの実現に向けて～

心臓植込みデバイス(CIEDs)の遠隔モニタリングを通じて、院内の定められたルールに沿って臨床工学技士が一定の判断を行い、他職種チームで患者介入に取り組むことで医師の負担軽減へつながる。このセッションでは、CIEDs患者の安全かつ有用なタスクシフトについて考えたい。



日時：5/17(土) 11:10～12:10
第3会場（7階会議室701/702）

【座長】



一宮市立市民病院
臨床工学室
脇田亜由美



りんくう総合医療センター
臨床工学室
中谷暁洋

【演者】



心臓病センター榊原病院
臨床工学科
有道真久



岐阜県総合医療センター
臨床工学部
仲井莉加